
夕陽に映る千景

はおくはじめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夕陽に映る千景

【Zマーク】

Z8091Z

【作者名】

はおく　はじめ

【あらすじ】

ずいぶん昔の物語。バイト先で知り合った大学生と高校生の切な
く淡く不器用な恋愛と運命のイタズラを書いてみました。

第一章 「出会い」

俺が千景に初めて会つたのは、バイト仲間でボーリング行こうかと相談してゐる時だつた。

俺の前を新人らしい子が通つたので「ねーボーリング行かない?」と言うと「今日は兄の誕生日なので行けません」そんな返事が妙に印象に残つた。その後はシフトも合わず会えない日が続いていた。バイト先は全国チエーンで年に一回、店同士でクオリティーを競うコンテストが催されていた。そしてその年はうちの店が選ばれ、相手も知らされた。コンテストは顔も知らないスーパーバイザーが突然やつて来て色々な角度から点数を付けるシステムだつた。

その為ベストメンバーを選び、シフトとは関係なくバッклームで審査員を待つていた。俺はそのスタメンに入つていたが、もちろん千景は入つていなかつた。

毎日毎日緊張して審査員を待つ日が続き、俺たち7人もやや疲れ始めて來たが、そんな俺たちを笑わせてくれたのが千景だつた。第2章 「千景が店に来ない」に続く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8091z/>

夕陽に映る千景

2011年12月25日21時47分発行